

名古屋大須ロータリークラブ

WEEKLY REPORT No. 1227

<本年度会長方針>

リノベーション renovation

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
 会長 木村 光徳 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
 幹事 渡辺 観永 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
 URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail office@nagoya-osu.org

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

第1439回例会

職業奉仕月間・米月間

平成25年10月24日(木)

於 名古屋東急ホテル

会員 64名

出席計算数

57名中44名出席

出席率 77・19%

前及前回出席率 82・35%

例年プログラム

★ハナー披露

★小澤 広報委員長

・『ロータリーの友』誌からお願い

★卓話

ロータリーソング

「それでこそロータリー」

指揮者 鬼頭 茂成

ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

(株)名古屋スポーツセンター

代表取締役 長江 和弘さん

ピクチャー

奄美R.C 福永 健一さん

ニコボックス

いつもメールしても気持ちのよい大須ロータリーの皆さん、こんにちは。明日東京で食品衛生優良施設厚生大臣賞受賞のため本日は立寄りしました。今年度もよろしくお願

いします。奄美R.C 福永 健一

長江さん、福永さん、今日はよう

こそお越し頂きました。ありがと

うございます。

木村 光徳

長江さん 例会を楽しんで下さい！
岡部 快圓

日曜日の宅建試験、駄目でした!!

情けない。トホホ…今日の卓話よ

ろしくお願いします。春日井和良

草野さん木村さん吉田さん、あり

がとうございました。堀江 英弥

長らく休みました。佐々木 功

10/22高蔵幼稚園 増築園舎地

鎮式が無事終わりました。

桑山 光俊

会長挨拶

会長 木村 光徳

今日は先日まで体操の世界選手

権が開催されていた、ベルギー王

国について話をさせて頂きます。

ベルギーはヨーロッパの中央部

に位置し、オランダ・フランス・

ドイツ・ルクセンブルグと国境を

接し、パリ・アムステルダム・ロ

ンドン等とは列車で2時間程度、

又ドイツの主要都市へも3〜4時

間位でアクセス出来ます。その為

EUの本部はベルギーの首都ブリ

ュッセルに置かれています。又世

界的な企業のヨーロッパの拠点も

数多く有り、ブリュッセルの人口

の30%以上が外国人という国際

都市で、日本人も5,000人以上

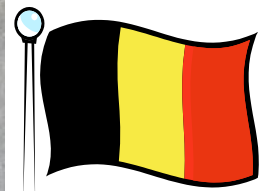
が在留しています。

街並は尖塔の有るゴシック様式

の建物が多く、石畳の道路と相俟

って典型的なヨーロッパの雰囲気

の街です。しかし、パリやベネ



チアのような華やかさは全く有りません。グラ

ン・プラス広場

は世界一の広場

と言われ文化遺

産にもなってい

ますが、ここが

世界一?と言う

のが正直な感想

でした。

ベルギーで日

本人にも馴染

みといえは、ビ

ル・チョコレト・ワッフル・小

便小僧・ダイヤモンドが定番です

が、特にビールは、インペブとい

うベルギーのメーカーがバドワイ

ザーで有名なアンハイザー・ブツ

シュを買収し、世界一のビールメ

ーカーになっています。これ以外

にも多くのメーカーが有り、ヨー

ロッパでは他の国のホテルにもベ

ルギーのビールが置かれている事

が大変多い様に感じます。只日本

と違い、ラガー・ピルスナー・エ

ール・ランビックと種類が多く、

それが又多種に細分され、何百種

類も有る様で、ビールを注文する

と、どのメーカーのどの種類かを

聞かれ、困惑します。そんな時は、

「貴方が一番おいしいと思うビ

ル」と言う事になっています。

又ムール貝も名物ですが、一人

前で小さなバケツ一杯来ますので

これも注意が必要です。

卓話

「ロータリーの職業奉仕とは?」

職業奉仕委員長

春日井和良さん

皆さん、こんにちは。職業奉仕

委員長の春日井です。10月は職業

奉仕月間です。今日は職業奉仕委

員長として「ロータリーの職業奉

仕とは?」と題して、お話をさせ

て頂きます。ロータリー暦5年に

なりましたが、ロータリーのこと

は、実は何も知らない・判ってい

ない、そんな状態でここまで来

したので、この度の職業奉仕委員

長という責務を頂いて初めて、急

ぎぎ、今まで頂いた資料を走り読

みをしたりと、取りあえず勉強し

てみた次第です。

地区で聞いた話ですが、職業奉

仕委員長になると「貧乏くじを引

いた」と感じる方もみえるよう

ですが、私は決してそのようには思

いません。ロータリーの1会員と

してロータリーが何たるかの勉強

をする機会、きっかけを頂いた木

村会長、渡辺幹事には本当に感謝

しております。今日の話は、取り

あえず地区から頂いた資料や、ロ

ータリーの入門書など読んでみて

自分なりに感じたことや、資料の

中身をそのままお伝えする部分も

ありと、お聞き取り、何言って

んだと思われるところが多々ある



役員が私がロータリーの職業奉仕が何たるか、偉そうに壇上から話をさせて頂きますが、何せ付焼刃です。間違ったことをきくと「言うと思いません。どうかやさしく聞き流して頂き、あつてそつと教えて頂ければ大変有り難く存じます。」まず、先程も言いましたがロータリーを理解しないと職業奉仕もわかりません。それにはその歴史的發展過程を知ることが一番かと思えます。

独占しようかと貪欲な資本家が弱肉強食の競争に明け暮れていて、特に西部に進出する為の交通の要衝として栄えたシカゴでは、成功を夢みる人々が集まり、非常に荒廃無秩序な自由競争がまかりとおり、同業者はすべてライバルであり、金を儲けた者が成功者ともてはやされる。騙すよの騙される方が悪い」という風潮がまかり通った時代でした。

1905年というのは、日本では日露戦争が佳境になっていた頃ですね。ポール・ハリスは弁護士として、こういった資本家たち、依頼人を相手に事業は成功していたのですが、逆に気持ちとしては非常に淋しいものがあつたようです。ゆえに、クラブは親睦を目的としてスタートし、一業種一会員制と例会出席の強制を原則とすることを決めました。

この一業種一会員制は当時、他のクラブにはない独特のもので、同業種の集まりのクラブであればそこには必ず会員の序列がありませんが、ロータリーは一業種一会員ですから、皆、対等でものが言える。評判で入会者も増えました。しかし、しばらくして、せっかくな

一業種一会員で集まっているのだから、お互いの商売を利用しあつたらもつと儲けることが出来るという発想から、会員同士の互恵取引が盛んに行われるようになる。クラブ同士で会員を紹介しました。クラブ同士の会員なら信じあひ、ロータリーの会員なら信

用できると、商売にはとても都合がよかつた訳です。さらには、会員同士の取引や幹旋情報が漏れるのを恐れ、機密保持の規則もあつたようです。このように、今では信じられませんが、当初のロータリークラブには奉仕の概念は全くなかつたのです。

しかし、1906年に転機が訪れます。ドナルド・カーターという弁護士が入会の勧誘に際し、クラブの互恵主義について、「君たちは、お互い助け合つて豊かになつて楽しいだろう。しかし、一業種一会員制であれば、クラブに入れない同業者はどうなるのか。また、職業人のクラブであれば、職業を持たない一般地域社会の人達はどうなるんだ。この地域社会に生を受けて、地域社会に育てられ、地域社会にお世話になつて暮らしている。このお世話になつている地域社会に何らの恩返しもしない、何らの足跡も残さないで、自分達だけがお互い助け合つて、豊かになつて、やがてこの世を去つていく、そのようなエゴイズムのクラブは長く続かないだろ。そんなクラブに入りたくないと」言つて、きつぱりと入会を断りました。

この報告を聞き、痛く反省をしたのがポール・ハリスでした。「ドナルド・カーターの言う通りだ。クラブの行き方を変えよう」と言つて、それからロータリークラブは親睦だけでなく、世のため人のためと、即ち、奉仕も考えるクラブ

への転換期を迎えたのです。さらに、ポール・ハリスは、ロータリークラブが、世のため人のため奉仕をする為に存在するのであるから、そのようなクラブであれば、シカゴの街だけでなく、全アメリカの地域社会に於て然るべきと、ロータリーの拡大という考え方を提唱するようになります。1906年12月、ポール・ハリスはクラブの定款を改正して、対社会的奉仕活動に関する項目を追加し、さらに1907年2月、会長就任と共に、クラブ運営方針を抜本的に変更して、会員増強拡大、社会奉仕の実践を掲げます。

しかし、この突然に提唱された対社会的奉仕活動の考え方は、これまで会員に大きな利益をもたらしてきた物質的相互扶助と大きな食い違いがあり、会員同士で激しい論争が起ります。そんな中、1908年1月にアーサー・フレデリック・シエルドンが入会します。彼は、ビジネススクールを経営する経営学の理論家でした。物質的相互扶助の代わり、当時誰もが考えつかなかつた奉仕理念をロータリーに提唱しました。それは、会員の事業の発展という目的をそのまま温存し、その具体的な方法を、従来の物質的相互扶助から、継続的に利益をもたらす顧客を確保することが事業の発展につながる、という独自の経営学に基づく販売術に転換したのです。顧客、つまりお得意様を得るには、

自分の利益を優先するのではなく自分の職業を通じて社会に貢献する意図を持って事業を営むべきである。つまり、労働環境を良くしたり、従業員や取引に関係する人達と利益を適正に配分することなどが地域社会に貢献することになり、その評判などが廻り廻つて顧客獲得につながるという訳です。シエルドンは当時の互恵・親睦派に対して理論的に懐柔していったようです。一業種一会員制については、親睦を担保する面もありますが、プラス奉仕のための一業種一会員制という形で、シエルドンが構成していきます。ロータリーはそれぞれの業界からの唯一選ばれた優秀な人であり、クラブの例会で理念を身につけ、また、業界に戻りそれを伝え広める、そういう核になつて欲しい。だからロータリーは業界の代表ではなく、ロータリーの代表であり、ロータリーから業界に仕向けられる大使であるという考え方です。これによって、一業種一会員制が単なる同業者を排除し、親睦を担保する制度から、業界をよりよく変えていくという、奉仕につながるという考え方に変わったのであります。ですから、例会出席の強制も、大使が例会を欠席していたのでは例会で得られた情報などが業界に伝わらない、必ず出席してロータリー精神を身につけてい

という考えが奉仕のための出席の強制の原則に至つたのです。

このようにシエルドンが、二つの原則を奉仕において必ず必要なものと修正したために、現在も無くしてはならない原則として活きているわけです。ロータリークラブ発足当初には、奉仕の概念が全くなかったといふこと。Donald・カーターが奉仕の必要性を唱え、これによって、ポール・ハリスが考え、方針を転換して、シエルドンが自身のサービスマスを取り入れて、相互扶助から事業の在り方に奉仕が必要である」とロータリーに吹き込んだとも言いましょうか。ところが、シエルドンのサービスマスには、事業に於ける倫理的・道徳的な発想があつて、当時のアメリカになつた画期的な考え方であり、現在でも利益優先にならぬがちな経営方法の戒めになるのでは、と思ひます。ロータリーでいう職業倫理の原点があると思ひます。興味のある方は、源流の会発行の「シエルドンの森」を読まれては如何でしょうか。

次に、「ロータリーの目的」について少し意見を述べさせていただきます。昨年までは「ロータリーの綱領」が表現されていたものですが、「目的」となつて、文章、表現が若干変わつています。改めて各項目を見ていきます。

第一、知の合意を広めようとして奉仕の機会を得よう。

第二、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値ある

ものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各目的の職業を高潔なものとする。

第三、ロータリアン一人一人が個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践する。

第四、奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界ネットワークを通じて国際理解、親善、平和を推進する。

となつています。ここに「奉仕の機会」「奉仕の理念」とあります。文章の意味が今ひとつ理解しづらいと言ひますか。そこで奉仕という言葉と辞林、辞書で引いてみました。【国家社会や目上の者などに私心を離れて力を尽くすこと】、【商人が客のために特に安く売ること】、「奉仕品」とあります。また、和英辞典では「サービス」とあります。当然、前段の意味かと思ひます。ですから、ロータリアンは常に、どんな場合でも、私心(自分の利益だけを考へる心)を捨てて世のため人のために「尽くさなければならぬ」のです。

次に、「こちらもロータリーの標語」の中の奉仕理念です。「He pro-fits most who serves best」(最も多く奉仕するものが、最も多く報われる)。これは、先程のシエルドンが1911年の全米ロータリー連合大会での演説で発表されたもので、自身のサービスマスのなかでの論理をロータリーの存在意義

に当てはめたものです。それは、他人の立場を考へ、他人のためになるように尽くすこと、即ち、シエルドンの言う「サービスマスの精神」に従つて行動する者が成功するといふことを表してあります。シエルドンの、このサービスマス論は、サービスマス奉仕をするのが事業の成功につながる言ひをしています。奉仕することは私心を捨て、尽くさないとはいけませんから、多くの報いを望んではいけません。報いは自然に廻り廻つてくるのだと思ひます。

次に「Service Above Self」(超我の奉仕) こちらも1911年の全米ロータリー連合大会でミネアポリス・クラブの2代目会長フランク・ロビンズが演説して唱えたフレーズです。当初は「not self」(無我の奉仕) だったが、以後「above」に表現が変わりました。自分を否定、犠牲にする程の奉仕という意味でしょうか。私心を捨て、さらに犠牲になつてという...超我という表現より、「not self」の無我という表現のほうが、しつら来る感じではあります。

「ここまでお話ししましたロータリーの奉仕の概念は、経営者であるシエルドンの唱えた道徳的、倫理を重んずる人道的なサービスマスに基づいて考へる方が基礎になつていふことが、わかりました。ロータリーの職業奉仕の定義として、わかりやすく説明しているものがあります。

このように、

1. 真実かどうか (自分の言ひこそ偽り、「まかしは無い」)
2. みんなに公平か (取引先、従業員、関係者に対して) 善意の表れ、相手の立場に立つて)
3. 好意で友情を深めるか (行動が)
4. みんなのためになるかどうか (関係者主として、社会に対して)

各項目の頭文字をとつて「S・I・C・M」と覚えて下さい。私は入会した時は単なる道徳訓みたいなことかと思つていましたが、今回、この四つのテストの意味が奥深いと言ひます。職業人として普段の行動の指針になるものだと感じていています。

最後に大奉仕、ロータリー財団それぞれの関係、つながりが良くわかるロータリーの樹がありましたので説明致します。渡辺好

◎職業奉仕はロータリーを一本の樹に例えるなら幹である。(ロータリーの樹・2008)

根: クラブ奉仕
枝と葉: 社会奉仕、国際奉仕
花: ロータリー財団

政2008-2009年R-1理事
が2008年度国際協議会での講
演で、ロータリーを一本の樹に例
えて、職業奉仕の重要性を説明さ
れました。ロータリークラブはク
ラブ奉仕、即ち綱領、四つのデス
トなどを認識した研鑽と言った根か
り吸収された「水」と「栄養」は、
「奉仕の理想」と「幹」を通
って上へ上がります。その幹こそ
が文字通りロータリーの根幹であ
る「職業奉仕」です。そして「技
や業」は「社会奉仕」「国際奉仕」
と云つた実を付け、そしてロータリ
ー財団という花を咲かせます。そ
して、やがて多くの素晴らしい「実
」を結びます。ロータリーの樹から
結ばれる実を素晴らしい「実」で
す。ロータリーにおいて、職業奉
仕は金看板であり、職業倫理は永
遠の課題であるといわれます。

今回、自分なりに資料を読んだ
り、無い頭をひねって考えてみて
思ったことは、職業奉仕の理念が
これだけロータリーの成り立ちの
根幹になっている、ということだ
です。しかし、職業奉仕については
クラブ内でも、話し合つては
ないですね。職業奉仕は社会
奉仕と他の奉仕活動に比較して
形に表れないものです。皆さんの
各仕事の中で、個人の考え方、取
り組みについて、道徳的・倫理的
概念に基づいて行動しているかど
うか。皆さんの自覚性の中にある
ので誰がどのよう実践している

か理解できない訳で、ロータリア
ン夫々が自身の活動がロータリー
の職業奉仕の概念にあっているか
どうか、話し合つたか、発表する
とか、そういう機会があるか、他
の会員のことをより理解すること
もでき、親睦もさらに深まるし、
自身の勉強にもなると思います。
職業奉仕の実践については、常
に如何に、「己を律することができ
るか、また、人への思いやりなど、
そういう意識を持ち続けることが
大切だと思ひます。忙しいについ
忘れたりしまいがちです。そんな
時会員同士で話し合えば、気
づきもできる筈です。そんなロータ
リアンでありたい、あるように精
進したいと思います。

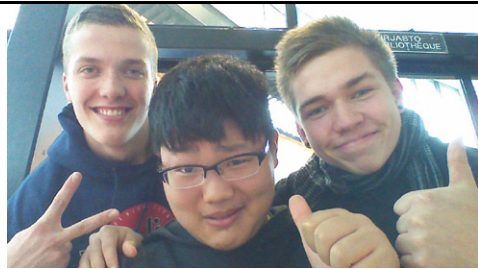
「清職、ありがとうございます」

■ パナー披露 浅野 彰

・鈴鹿ベイR.C. 第2の600地区



派遣青年交換学生 報告
「マンストリーレポート」



青少年交換学生 林 拓弥
こんにちは
は！ フィ
ンランドの
林拓弥です。
9月はこ
も色々な事
があったの
ですが、写
真を撮る事
を忘れてい
てきちんと
した写真が
ありません。
お許し
下さい。

まずはその色紙をお話します！
大きな事は全部でつありました。
一つ目は第一ホストファミリー
と一緒に、お引越しした事です。
それによって変わった事は学校
が近くなったとゆう事と、一軒家
からアパートになり僕の部屋が小
さくなった事くらいです。引越し
の準備は全部自分たちでしたので
とても大変でした。連日だけの作
業で丸2日かかりました。まだ最
近の事なので少し腰が痛いです。
そして、もう一つは自分の所属
しているクラブ（14200地区）
で卓話をした事です。内容は「私
と日本について」で、20分間フィ
ンランド語でスピーチしました。

しかし、まだフィンランドに來
て二ヶ月なので大部分の文法もめ
ちゃくちゃで、単語も違つたのも
あったかもしれません。プラス、
上がり症の私は本番も緊張してし
まい練習の半分も上手く出来な
かつたと思います。
でも聞いて下さつたロータリー
の皆さんは、卓話の最中も冗談を
言つたり笑つてくれたし、僕が
「きちんと言いたい事が通じてる
かなあ（汗）」と不安になつた時
も（うん、うん）と相づちを打つて
くれたりと、ものすごく優しい人た
ちばかりでした！



終わった後
も皆さんと
とても良かつ
た！と褒め
て下さいまし
た。めっちゃ
嬉しかったで
す！！



それから少
しついで、ロー
タリアンの方
に「この前や
つた卓話を、
今度ぜひ他の
クラブでもや
つてほしい」と
言われまし
た。また嬉し
くなりました。
た。まだ正式

な日付けは決まっています。が、
そこで新しく作り直した卓話改
を一発決めたいと思ひます。そ
に向けても頑張ります！！
これで9月の話はおしまいです。
最近また少し太つて来ました。
これ以上太るわけにはいかない
し、生活も落ち着いてきたので10
月からは柔道をやる為近くにあ
る道場に通つことにしました。そ
こでも柔道を通じて、たくさん交
流していきたいと思ひます！
ありがとうございます！

YMCA
チャリティラン



於 名城公園
★11月2日(土) 10時~15時
12時チームリーススタート
(6名のタスキリレー)
13時30時発表表彰式、抽選会
*応援だけに参加の方は、
11時を過ぎお越したくない。

11月7日(木) 例会の案内
SPEAK OUT DAY

広報委員会

小澤 幸男・青木 靖高
飯田 昭夫・杉浦 令淑
*本文は、原則、頂いた
原稿を転載しています。